



KVM ワークロードを保護する (プレビュー)

NetApp Backup and Recovery

NetApp
February 23, 2026

目次

KVM ワークロードを保護する（プレビュー）	1
KVM ワークロードの保護の概要	1
NetApp Backup and Recoveryで KVM ワークロードを発見	1
管理プラットフォーム、KVMホストを追加し、リソースを検出します	2
NetApp Backup and Recoveryダッシュボードに進みます	3
NetApp Backup and Recoveryを使用して KVM ワークロードの保護グループを作成および管理します	3
保護グループを作成する	3
保護グループを編集する	4
保護グループを削除する	4
NetApp Backup and RecoveryでKVMワークロードをバックアップ	5
オンデマンド バックアップで保護グループを今すぐバックアップ	5
NetApp Backup and Recoveryを使用して KVM 仮想マシンを復元する	6
仮想マシンの復元の仕組み	6
復元オプション（検索と復元）からVMを復元する	7

KVM ワークロードを保護する（プレビュー）

KVM ワークロードの保護の概要

NetApp Backup and Recoveryを使用して、管理対象の KVM VM とストレージ プールを保護します。NetApp Backup and Recovery は、高速でスペース効率に優れた、「crash consistent state（障害など予期しないシャットダウン時と同様）」の状態、VM 整合性のあるバックアップおよびリストア操作を提供します。バックアップとリカバリを使用して KVM ホストと VM を保護する前に、Apache CloudStack などの管理プラットフォームで KVM ホストと VM を管理する必要があります。

KVM ワークロードを Amazon Web Services S3、Azure NetApp Files、またはStorageGRIDにバックアップし、KVM ワークロードをオンプレミスの KVM ホストに復元できます。

NetApp Backup and Recoveryを使用して 3-2-1 保護戦略を実装します。この戦略では、ソース データのコピーを 2 つの異なるストレージシステムに 3 つ、クラウドに 1 つ保存します。3-2-1 アプローチの利点は次のとおりです。

- 複数のデータ コピーにより、内部および外部のサイバー セキュリティの脅威から保護されます。
- 異なるタイプのメディアを使用すると、1 つのタイプに障害が発生した場合でも回復しやすくなります。
- オンサイト コピーから迅速に復元し、オンサイト コピーが侵害された場合はオフサイト コピーを使用できます。



NetApp Backup and Recovery UIのバージョンを切り替えるには、"[以前のNetApp Backup and RecoveryUIに切り替える](#)"。

NetApp Backup and Recoveryを使用して、KVM ワークロードに関連する次のタスクを実行できます。

- "[KVMワークロードを発見](#)"
- "[KVM ワークロードの保護グループの作成と管理](#)"
- "[KVMワークロードのバックアップ](#)"
- "[KVMワークロードを復元する](#)"

NetApp Backup and Recoveryで KVM ワークロードを発見

NetApp Backup and Recovery、KVM ホストと仮想マシンを保護する前に検出する必要があります。KVM ホストと VM をバックアップとリカバリに追加する前に、Apache CloudStack などの管理プラットフォームで管理する必要があります。

必要なコンソール ロール バックアップとリカバリのスーパー管理者。詳細はこちら"[バックアップとリカバリの役割と権限](#)"。"[すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します](#)"。

管理プラットフォーム、KVMホストを追加し、リソースを検出します

管理プラットフォームと KVM ホスト情報を追加し、NetApp Backup and Recoveryでワークロードを検出できるようにします。

手順

1. NetApp Consoleメニューから、保護 > バックアップとリカバリ を選択します。
2. *ワークロード*の下で、*KVM*タイルを選択します。

初めて Backup and Recovery にログインし、コンソールにシステムがあるがリソースが検出されていない場合は、[新しいNetApp Backup and Recovery へようこそ] ページが表示され、[リソースの検出] オプションが表示されます。

3. *リソースの検出*を選択します。
4. 次の情報を入力してください。
 - a. ワークロード タイプ: **KVM** を選択します。
 - b. 管理プラットフォームをバックアップとリカバリとまだ統合していない場合は、[管理プラットフォームの追加] を選択します。
 - i. 次の情報を入力してください。
 - 管理プラットフォームの **IP** アドレスまたは **FQDN**: 管理プラットフォームの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。
 - **API キー**: API リクエストの認証に使用する API キーを入力します。
 - **秘密キー**: API リクエストの認証に使用する秘密キーを入力します。
 - **ポート**: バックアップとリカバリと管理プラットフォーム間の通信に使用するポートを入力します。
 - **エージェント**: バックアップとリカバリと管理プラットフォーム間の通信を容易にするために使用するコンソール エージェントを選択します。
 - ii. 完了したら、[追加]を選択します。
 - c. **KVM** 設定: 次の情報を入力して新しい KVM ホストを追加します。
 - **KVM FQDN** または **IP** アドレス: ホストの FQDN または IP アドレスを入力します。
 - **資格情報**: KVM ホストのユーザー名とパスワードを入力します。
 - **コンソール エージェント**: バックアップおよびリカバリと KVM ホスト間の通信に使用するコンソール エージェントを選択します。
 - **ポート番号**: バックアップおよびリカバリと KVM ホスト間の通信に使用するポートを入力します。
 - **管理プラットフォーム**: KVM ホストが管理されており、管理プラットフォームをバックアップとリカバリに追加している場合は、リストから管理プラットフォームを選択します。
5. *Discover*を選択します。



このプロセスには数分かかる場合があります。

結果

KVM ワークロードは、インベントリ ページのワークロード リストに表示されます。

NetApp Backup and Recovery ダッシュボードに進みます

手順

1. NetApp Console メニューから、保護 > バックアップとリカバリ を選択します。
2. ワークロード タイル (Microsoft SQL Server など) を選択します。
3. 「バックアップとリカバリ」メニューから、「ダッシュボード」を選択します。
4. データ保護の健全性を確認します。新しく検出され、保護され、バックアップされたワークロードに基づいて、危険にさらされているワークロードまたは保護されているワークロードの数が増加します。

NetApp Backup and Recovery を使用して KVM ワークロードの保護グループを作成および管理します

KVM リソース セットのバックアップ操作を管理するための保護グループを作成します。保護グループとは、一緒に保護する VM やストレージ プールなどのリソースの論理的なグループです。KVM 仮想マシンまたはストレージ プールをバックアップするには、保護グループを作成する必要があります。

保護グループに関連する次のタスクを実行できます。

- 保護グループを作成します。
- 保護の詳細を表示します。
- 今すぐ保護グループをバックアップします。見る ["KVM ワークロードを今すぐバックアップ"](#)。
- 保護グループを編集します。
- 保護グループを削除します。

保護グループを作成する

保護する VM とストレージ プールを保護グループにグループ化します。

必要なコンソール ロール バックアップおよびリカバリのスーパー管理者またはバックアップおよびリカバリのバックアップ管理者ロール。 ["すべてのサービスに対する NetApp Console のアクセスロールについて学習します"](#)。

手順

1. NetApp Backup and Recovery メニューから、インベントリ を選択します。
2. 保護の詳細を表示するには、ワークロードを選択します。
3. アクションアイコンを選択します **...** > 詳細を表示。
4. *保護グループ* タブを選択します。
5. *保護グループの作成* を選択します。
6. 保護グループの名前を指定します。

7. ホストを選択すると、そのホスト上で使用可能な VM が一覧表示されます。検出されたすべてのホストの VM を含めるには、ホストリストで **All** を選択します。
8. 保護グループに含める個々の VM を選択するか、*すべて*を選択してリスト内のすべての VM を含めません。

選択した VM は、**Added virtual machines** 領域に表示されます。リストから個々の VM を削除したり、リスト全体を空にしたりすることができます。複数の KVM ホストからの VM をリストに追加できます。

9. *次へ*を選択します。
10. 保護グループに適用する保護ポリシーを選択するか、*新しいポリシーの作成*を選択して新しいポリシーを作成します。

バックアップポリシーの作成の詳細については、以下を参照してください。["ポリシーの作成と管理"](#)。

11. *次へ*を選択します。
12. 構成を確認します。
13. 保護グループを作成するには、[作成] を選択します。

保護グループを編集する

保護グループを削除して再作成せずに、保護グループの詳細を変更する必要がある場合は、保護グループを編集します。

手順

1. NetApp Backup and Recoveryメニューから、インベントリ を選択します。
2. 保護の詳細を表示するには、ワークロードを選択します。
3. アクションアイコンを選択します **...** > 詳細を表示。
4. *保護グループ*タブを選択します。
5. 編集する保護グループを選択します。
6. アクションアイコンを選択します **...** > 編集。
7. 保護グループの一般的な詳細と VM に必要な変更を加えます。
8. *次へ*を選択します。
9. 必要に応じて、保護グループに関連付けられている保護ポリシーを変更します。
10. *次へ*を選択します。
11. 設定を確認し、「送信」を選択します。

保護グループを削除する

保護グループを削除すると、保護グループとそれに関連付けられているすべてのバックアップ スケジュールが削除されます。保護グループが不要になった場合は削除することができます。

手順

1. NetApp Backup and Recoveryメニューから、インベントリ を選択します。

2. 保護の詳細を表示するには、ワークロードを選択します。
3. アクションアイコンを選択します **...** > 詳細を表示。
4. *保護グループ*タブを選択します。
5. 削除する保護グループを選択します。
6. アクションアイコンを選択します **...** > 削除。
7. 関連するバックアップの削除に関する確認メッセージを確認し、削除を確定します。

NetApp Backup and RecoveryでKVMワークロードをバックアップ

データが確実に保護されるように、オンプレミスのONTAPシステムから Amazon Web Services、Azure NetApp Files、またはStorageGRIDに KVM 保護グループをバックアップします。保護グループをバックアップすると、NetApp Consoleは保護グループに含まれる VM とストレージ プールをバックアップします。バックアップは自動的に生成され、パブリック クラウド アカウントまたはプライベート クラウド アカウントのオブジェクト ストアに保存されます。



保護グループをスケジュールに従ってバックアップするには、バックアップおよび復元操作を制御するポリシーを作成します。見る["ポリシーを作成"](#)手順についてはこちらをご覧ください。

- 保護グループを作成して、リソース セットのバックアップおよび復元操作を管理します。見る["NetApp Backup and Recoveryを使用して KVM ワークロードの保護グループを作成および管理します"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

オンデマンド バックアップで保護グループを今すぐバックアップ

オンデマンド バックアップをすぐに実行できます。これは、システムに変更を加える前にバックアップがあることを確認したい場合に役立ちます。

必要なコンソール ロール バックアップおよびリカバリのスーパー管理者またはバックアップおよびリカバリのバックアップ管理者ロール。 ["すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します"](#)。

手順

1. NetApp Consoleメニューから、保護 > バックアップとリカバリ を選択します。
2. KVM タイルで、[検出と管理] を選択します。
3. *在庫*を選択します。
4. 保護の詳細を表示するには、ワークロードを選択します。
5. アクションアイコンを選択します **...** > 詳細を表示。
6. 保護グループ、データストア、または*仮想マシン*タブを選択します。
7. バックアップする保護グループを選択します。

8. アクションアイコンを選択します **...** > 今すぐバックアップ。



バックアップに適用されるポリシーは、保護グループに割り当てられているポリシーと同じです。

9. スケジュール層を選択します。

10. *バックアップ*を選択します。

NetApp Backup and Recoveryを使用して KVM 仮想マシンを復元する

NetApp Backup and Recoveryを使用して、スナップショット、セカンダリストレージに複製された保護グループバックアップ、またはオブジェクトストレージに保存されたバックアップから KVM 仮想マシンを復元します。

これらの場所から復元

異なる開始場所から仮想マシンを復元できます。

- プライマリロケーション（ローカルスナップショット）からの復元
- セカンダリストレージ上の複製されたリソースから復元する
- オブジェクトストレージバックアップからの復元

これらのポイントに復元する

以下のポイントまでデータを復元できます:

- 元の場所に復元する

オブジェクトストレージからの復元に関する考慮事項

オブジェクトストレージ内のバックアップファイルを選択し、そのバックアップに対してランサムウェア保護がアクティブになっている場合 (バックアップポリシーで DataLock と Ransomware Resilience を有効にしている場合)、データを復元する前に、バックアップファイルに対して追加の整合性チェックを実行するように求められます。スキャンを実行することをお勧めします。



バックアップファイルの内容にアクセスするには、クラウドプロバイダーから追加の送信コストが発生します。

仮想マシンの復元の仕組み

仮想マシンを復元すると、次のことが起こります。

- ローカルバックアップファイルからワークロードを復元すると、NetApp Backup and Recovery はバックアップのデータを使用して新しいリソースを作成します。
- レプリケートされた VM から復元する場合は、元のシステムまたはオンプレミスの ONTAP システムに復元できます。
- オブジェクトストレージからバックアップを復元する場合、データを元のシステムまたはオンプレミスの ONTAP システムに復元できます。

[復元] ページ (検索と復元とも呼ばれます) からは、VM の正確な名前、VM が存在する場所、VM が最後に正常な状態であった日付を覚えていなくても、VM を復元できます。フィルターを使用してスナップショットを検索できます。

復元オプション (検索と復元) からVMを復元する

復元オプションを使用して KVM 仮想マシンを復元します。スナップショットは、名前またはフィルターを使用して検索できます。

必要なコンソール ロール バックアップおよびリカバリのスーパー管理者またはバックアップおよびリカバリの復元管理者ロール。 "[すべてのサービスに対するNetApp Consoleのアクセスロールについて学習します](#)"。

手順

1. NetApp Consoleメニューから、保護 > バックアップとリカバリ を選択します。
2. NetApp Backup and Recoveryメニューから、[復元] を選択します。
3. 名前検索フィールドの右側にあるドロップダウン リストから、**KVM** を選択します。
4. 復元する VM の名前を入力するか、復元するリソースが配置されている VM ホストまたはストレージ プールをフィルターします。

検索条件に一致するスナップショットのリストが表示されます。

5. 復元したいスナップショットの*復元*ボタンを選択します。

可能な復元ポイントのリストが表示されます。

6. 使用する復元ポイントを選択します。
7. スナップショットのソースの場所を選択します。
8. 続行するには、[次へ] を選択します。
9. 復元先と設定を選択します。

目的地の選択

元の場所へのリストア

1. クイック復元を有効にする: クイック復元操作を実行するにはこれを選択します。復元されたボリュームとデータはすぐに利用できるようになります。クイック リストア プロセス中はデータへのアクセスが通常よりも遅くなる可能性があるため、高パフォーマンスが必要なボリュームではこれを使用しないでください。
2. 復元前オプション: 復元操作の前に実行するスクリプトの完全なパスと、スクリプトが受け取る引数を入力します。
3. 復元後のオプション:
 - **VM** の再起動: 復元操作が完了し、復元後のスクリプトが適用された後に VM を再起動するには、これを選択します。
 - **Postscript**: 復元操作後に実行するスクリプトの完全なパスと、スクリプトが受け取る引数を入力します。
4. *通知*セクション:
 - 電子メール通知を有効にする: 復元操作に関する電子メール通知を受信し、受信する通知の種類を指定するには、これを選択します。
5. *復元*を選択します。

別の場所へのリストア

KVM ワークロード プレビューでは使用できません。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。